

刊行のことば

21世紀も間近に迫り、激動する社会変革の中で子どもたちを取り巻く環境は大きく変わりつつあります。わたくしども教育研究所は、1980年に設立され、教育文化福祉事業に携わる当社の教育研究機関として、教育動向分析、子どもや教師の意識・実態調査、教材研究等を行ってまいりました。これらの研究成果は、小中高校生を対象とした調査報告書「モノグラフ」や、中学校教師を対象とした教育情報紙「進研ニュース」、教育に関する今日的課題に焦点をあてた「研究紀要」、また子どもに関わるテーマを学際的な視野から斬り込んだ「季刊 子ども学」の刊行、あるいは国際教育シンポジウムをはじめとする各種講演会の開催などを通して教育関係の方々に情報提供させていただいております。これまでの調査研究活動にご指導ご助言ご協力をいただきました多くの方々に対し、心から御礼申し上げます。

さて、今回発刊いたしました研究所報Vol.7「親たちが考える2000年の教育像」は、小学1年生と小学4年生を持つ保護者を対象に現在や将来（西暦2000年ごろ）の教育に関する意識をたずね、分析した、レポートです。

今後のわが国の教育をめぐる変化の要因には様々なことが考えられますが、その中でも親たちの「わが子」に対する教育期待、そして学校教育や学歴に対する意識などは、特に高等教育の将来を考えるうえで有力な手がかりになると思います。

尚、本報告書の分析にあたりましては、耳塚寛明（お茶の水女子大学）、岩木秀夫（日本女子大学）、酒井朗（南山大学）、菊地栄治（国立教育研究所）の諸先生方をお願い致しました。また、アンケートにご協力頂きました全国の父母の方々には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この報告書が多くの皆様のお役に立てれば幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成5年10月

福武書店教育研究所

目次

調査の概要	2
本報告書の要約	4
第1章 親の目からみた子どもの学習状況	
1. 家庭での学習時間	10
2. 子どもの学業成績	11
3. 子どもへの接し方	12
4. 学校の指導に対する親の希望	14
5. おけいごと	16
6. 学習塾・通信教育	19
7. 塾・おけいごとと通いと子どもの将来に対する親の意識	21
第2章 学歴・教育への期待	
1. 学歴期待	26
2. 中学校の選択	29
3. 高等学校の選択	31
4. 学歴期待と中学校、高等学校選択の関連	32
5. どんな短大、大学へ進学してほしいか	33
6. 特色ある短大、大学の選好	37
第3章 21世紀の大学と進路選択	
1. 大学進学への効用	42
2. 21世紀の予測	45
3. 進路選択場面での対応	47
第4章 家計と教育費負担、子どもの自立・結婚への期待	
1. 家計の収入	52
2. 教育費の負担感	53
3. 教育目的の貯蓄	54
4. 子どもに経済的な自立や、結婚、出産を期待する年齢	55
5. 持ってほしい子どもの数	59
6. 少子化、晩婚・晩産化と教育の関わり（一考察）	64
資料1 調査票見本	70
資料2 基礎集計表	80